



日頃の備え - 自助 -

キキクルで危険度を確認しましょう

発表される大雨警報や洪水警報などについて、実際にどこの場所で危険度が高まっているかは、気象庁の「キキクル」を使って知ることができます。

気象庁のホームページから、または検索で

気象庁のホームページのトップページ(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)から「キキクル(危険度分布)」を選択するか、検索サイトで「キキクル」を入力しましょう。

ここをクリック



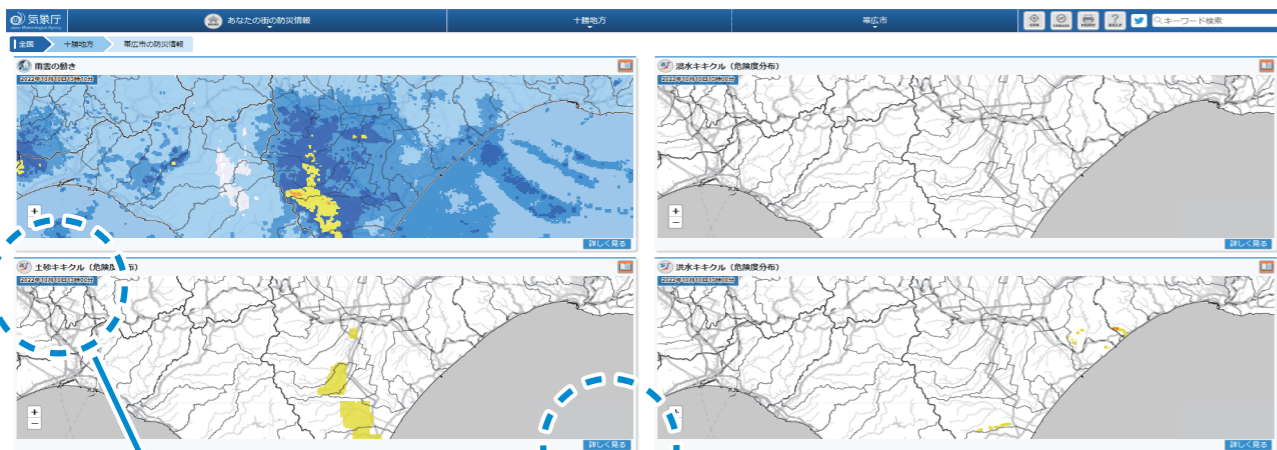
キキクルはここから



キキクル

検索

雨雲の動きと「洪水害」「土砂災害」「浸水害(内水氾濫)」の危険度を把握可能



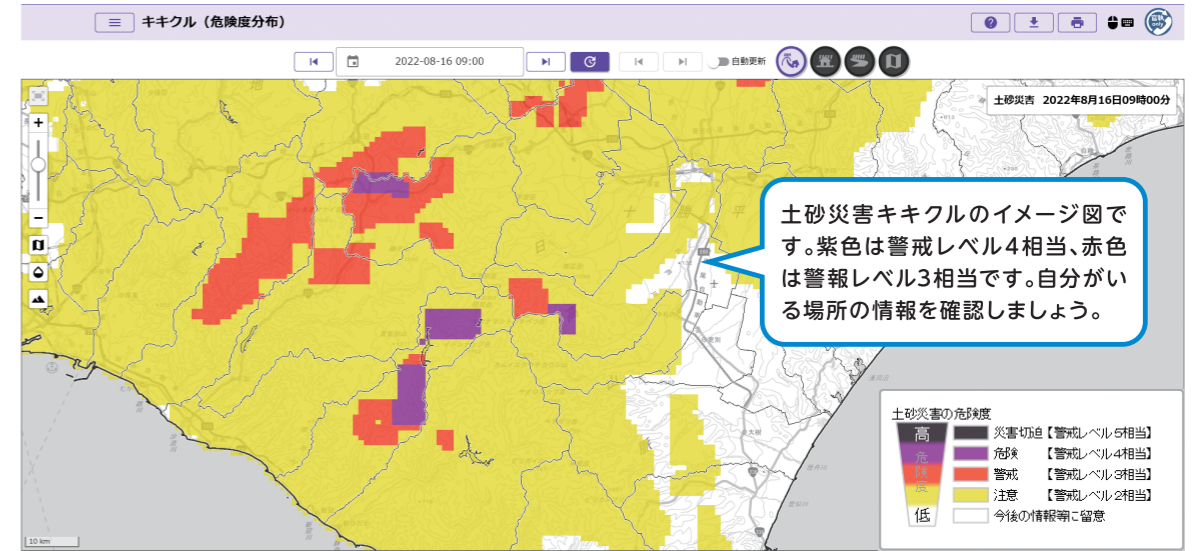
知りたい災害リスクをここで確認

ここをクリックして詳細のページへ

※洪水キキクルには、主に春先の雪解けによる増水が反映されていない場所がありますので、ご注意ください。

「どこで危険度が高まっているか」を把握することで、避難の判断に役立ちます

キキクルは「大雨警報(土砂災害)」や「大雨警報(浸水害)」、「洪水警報」などの警報を補足する情報です。自分がいる場所の危険度が高まっている場合は、早めの避難行動を心がけてください。



土砂災害キキクルのイメージ図です。紫色は警戒レベル4相当、赤色は警戒レベル3相当です。自分がいる場所の情報を確認しましょう。

※警戒レベルの詳細は、37ページをご覧ください。

警報の種類と内容を確認しましょう

●大雨警報(土砂災害)

大雨により重大な土砂災害が発生するおそれがあると予想された時に発表されます。

●土砂災害警戒情報

大雨により命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となった時に発表されます。

※土砂災害警戒区域など(55ページ参照)について確認しましょう。

●大雨警報(浸水害)

重大な浸水害(内水氾濫)が発生するおそれがあると予想された時に発表されます。

※特に周囲より低い場所やアンダーパス、地下室などの浸水リスクが高い場所にいる人はキキクルで危険度を確認しましょう。

●洪水警報

河川の上流域での降雨や融雪による増水や氾濫によって重大な洪水災害となるおそれがあると予想された時に発表されます。

※キキクルで実際にどの河川のどの場所で危険度が高まっているかを確認しましょう。



避難指示などは帯広市が発令しますが、キキクルで「赤色」が出現したら早めの避難を心がけましょう。「紫色」が出現した場合、他の情報収集手段(河川の水位計や監視カメラなど)も活用しながら、帯広市からの避難指示などを待たずに自ら避難行動を開始することも大切です。また、キキクルの危険度分布に関わらず帯広市から避難指示などが発令された時には速やかに避難行動をとってください。

